

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	令和2年度松阪市美術展覧会 第2回運営委員会
2. 開 催 日 時	令和2年8月5日（水） 午前9時30分から午前11時30分
3. 開 催 場 所	松阪市殿町1340番地1 教育委員会（第2分館） 2階 教育委員会室
4. 出席者氏名	（委員）山本静香、中西徹、菅原好彦、 立松隆司、織戸千尋、工藤俊朴、 福井幸恵、牧田研介、 ◎福田光子、○垣本和美 （◎委員長 ○委員長代理） （事務局）別紙のとおり
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	無
7. 担 当	松阪市殿町1340番地1 担当者：山本、山下 電 話 0598-53-4397 FAX 0598-22-0003 e-mail bun.div@city.matsusaka.mie.jp

議題

- （1）松阪市美術展覧会第1回運営委員会書面決議の結果報告
- （2）新型コロナウイルス感染予防にかかる状況報告
- （3）第61回（令和2年度）松阪市美術展覧会の開催に向けた進捗および今後の対応

議事録要約

別紙

令和2年度松阪市美術展覧会 第2回運営委員会議事録（要約）

開催日 令和2年8月5日（水）午前9時30分～午前11時30分

会場 松阪市教育委員会 2階教育委員会室

出席者 山本静香（日本画）、中西徹（洋画）、菅原好彦（彫塑）、立松隆司（美術工芸）、
織戸千尋（写真）、工藤俊朴（書道）、福田光子（公募）、垣本和美（公募）、牧田研介（公募）
産業文化部長：内山、文化課長：川村、文化振興係：山本、阪口、山下

欠席者 福井幸恵（公募）

1 開会

2 部長あいさつ

3 自己紹介

4 委員長、委員長代理の選出

運営委員長に福田光子氏、運営委員長代理に垣本和美氏を選出。

5 議題

松阪市美術展覧会第1回運営委員会書面決議の結果について

①第61回（令和2年度）松阪市美術展覧会の開催について

（事務局）

・後程順次。

②こどもワークショップの開催について

（事務局）

・写真部門の3名の先生方のご意見を伺った。

今年度は夏休みも短く、参加することへの負担や、逆に申し込みの減少が予想される。

開催することで想定すると密となる状況が予想される。これらのことから来年度に見送りということで了承。

③その他の意見

（事務局）

・出品規定について、引き続き、見当・改善をしていく。

（運営委員）

・異議なし

新型コロナウイルス感染防止にかかる状況

松阪市の基本方針について（令和2年5月27日）

「新しい生活様式」をふまえた行動

市民の皆さまへの注意喚起（令和2年7月15日）

（事務局）

◆報告

- ・三重県の指針バージョン2より、催し物等の開催については、国内で開催する分については収容率50%以内とする。また、イベント開催時の感染防止対策を徹底して行う。
- ・「新しい生活様式」の実践例においては、すべての方への周知、また、あらゆる場面において、これまでの生活はすべて見直していくことが現状。
- ・8月4日より三重県の指針バージョン3が出ている。コロナの状況をもとに、8月1日からも人数制限はなくなり、8月31日まで引き続き延期。また、発熱や咳等の症状の確認をする。これまでは希望申告だったが、検温をすることが新たに出てきた。

第61回（令和2年度）松阪市美術展覧会の開催に向けた進捗および今後の対応 進捗状況（ポスター掲示・作品募集・目録広告掲載事業・企業賞）

（事務局）

◆進捗状況

- ・前年度の出品者（291人）、招待者（48人）等に要項や出品票を送付。
- ・ポスター掲示等について、市内の地区市民センターや多気郡の3町、また中学校、近隣の高等学校、各店舗へPRを依頼している。
- ・作品の募集については、広報まつさか7月号や市のホームページにも掲載。
- ・目録広告掲載事業は、昨年に引き続き6者のお申込みを頂いた。1者の広告掲載にかかる10,000円の広告料は、美術展覧会の運営に充てさせて頂く。
- ・企業賞は4社からのお申込みを頂いた。1社につき10,000円の褒賞金につきましては、1部門1作品設けさせて頂き、受賞者に授与して頂く。

◆作品公募要項

○搬入について

- ・搬入時間は金曜日は午後1時から午後6時までとし、日中に来られない人のために夜間まで受付時間を設け、土曜日は午前9時から午後4時までとする。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として密集・密接（・密閉）の回避。

○搬出について

- ・搬出時間は初日が午後4時から午後6時まで、2日目が午前9時から正午まで。
- ・新型コロナウイルス感染症対策として密集・密接（・密閉）の回避。
- ・時間を区切って受付の番号順に返していくなど分散できる方法等を考えていくことが課題。

○審査について

- ・審査中の状況をビデオ撮影し、会場の外で閲覧できるような形をとることで、「公開」とするのはどうか。
- ・事前の聞き取りの中で、審査は非公開といったご意見もあり、検討していきたい。

○褒賞

- ・第60回記念で新設した3つの賞を継続する。(企業賞、まつさか未来賞、来場者投票賞)

○表彰式

- ・10月31日(土)午前10時から橋西地区市民センターで開催予定。
- ・密の状況を避けるために、奨励賞受賞者については搬出時に賞状等をお渡しする方向といたしたい。

○合評会

- ・新型コロナウイルス感染症対策として密集・密接・密閉の回避が困難なため代替案を検討していく。(質問を受付け、後日、文書で回答する。)
- ・事前の聞き取りの中で、合評会は行わないといったご意見がある。

◆その他

- ・他市の状況や、8月2日現在の新型コロナウイルス感染症発生状況を示している。

(ここまで、各運営委員 意見確認)

- ・展覧会の会期中は消毒など市で対策していくのか。
- ・住所や電話番号など書くことに抵抗がある場合はどうするのか。
- ・搬入の夜間まで受付時間を設けてというのはどういうことか。
- ・公開審査ではないのか、また合評会は中止なのか。
- ・会場内での密への対策はどのようにするのか。
- ・決まったことをホームページなどで伝えてほしい。
- ・審査についてのビデオはホームページで出したらどうか。
- ・合評会については会場に質問番号を用意して、後程ビデオやホームページで回答するのはどうか。
- ・市展自体開催を中止した方がいいと思う。
- ・説明で「非公開の形としないで」と言っていたが、表現的にどうなのか。
- ・家にいることが増えたことから、作品の出品を考えている方のために開催をしてもいいと思う。

(事務局)

- ・消毒液の設置、検温、名前・ご連絡先(個人情報なので約2週間で破棄)、マスクの着用を会場入り口で行う。また、入場制限もしていく。
- ・感染症対策のため、名前・住所などご連絡先を書くことに抵抗があっても協力を求めていく。
- ・「平日は6時まで」という意味で夜間という表現をした。
- ・審査についてはビデオ撮影したものを放映することで「公開」という使い方をして良いか。合評会を実施するか、もしくは中止するか協議をお願いしたい。
- ・会場内では人数制限をし、人が密集しないように、一定の基準を設けて常駐スタッフが注意を促す。

○市展開催について

=結果=

開催 多数

○審査について

(運営委員)

- ・あとでビデオで公開というのは密にはならないのか。
- ・ユーチューブだと苦情が入る可能性がある。撮影はなしでいいのではないか。
- ・ホームページにはアップできないのか。
- ・ホームページで流すと重たくならないか。
- ・今年は非公開だがビデオは見れますという表現に変えた方がよいのではないか。
(当日非公開。後日ビデオで公開)の表現で記載したらどうか。
- ・募集要項と矛盾してくるのではないか。

(事務局)

- ・ロビーで放映するのはどうか。常時放映できるように事務局が用意をする。
- ・ホームページは出展されない方も見れることから、いつもの公開より広がってしまう。
- ・ホームページなどで、できる範囲で決定したことを周知していく。

=結果=

非公開、後日ビデオで公開 多数

(公開とは『審査時と同時に審査状況を流す』、非公開とは『審査時ではなく、後日別の場所で流す』と、捉えることとする。)

○合評会について

(運営委員)

- ・質問全部回答しないといけないのか。
- ・合評会で行う質問をビデオでというのは大変ではないか。
- ・合評会は応募者にとって今後のための勉強にもなる。合評会を何もしないというのは結果しかわからないので、ビデオでとって開催中に流すのはいいと思う。
- ・全部の作品をとというのは数が多いので難しいと思う。
- ・すべて取り上げてというのは難しいと思うが、数点に限って総評という形でメッセージを残すのは難しいか。

(事務局)

- ・別の形で質問を受け付けるか質問を受けつけないことにするか。
- ・事務局でもビデオで公表できないかと検討したが、合評会は会期の最終日であり放映日が設けられない。また審査日に撮影を行うのは、展示後となるため長時間に渡り、審査員の先生方の負担が大きい。
- ・今年はなしとし、出品者の方にアンケートをとって意見を求めることで、来年につなげるのはどうか。

=結果=

中止とする。

7 閉会